

「障害者のスポーツに関する意識調査」の結果について

1 調査概要

(1) 調査目的

今後の東京都における障害者スポーツ振興に向け、都内に居住する障害のある方のスポーツに関する意識を調査し、「東京都スポーツ推進総合計画」に達成指標として掲げる「障害のある都民（18歳以上）の週に1日以上スポーツ実施率（2021年までに40%）」の達成状況等を把握する。

(2) 調査方法

無記名式のインターネット調査（平成30年6月7日～6月13日実施）

(3) 調査対象・人数

回答者本人及び同居する家族内の障害者を含めて1,366人（18歳以上）

2 調査結果の主なポイント

◎週に1日以上スポーツや運動を実施した人は32.4%、
スポーツや運動を実施していない人は49.9%

■この1年間に実施したスポーツ・運動の実施頻度（全体の1,366人が回答）

「週に1日以上実施」32.4% 「週に1日未満実施」11.0% 「実施しているが頻度不明」6.8%
「実施していない」49.9%

【週に1日以上スポーツ・運動の実施者】

- ・障害種別：①聴覚・平衡機能障害 41.6% ②音声・言語・そしゃく障害 41.1% ③内部障害 34.2%
④視覚障害 33.0% ⑤精神障害 32.0% ⑥肢体不自由 30.9% ⑦知的障害 25.1%
- ・性別：①男性 33.5% ②女性 31.2%
- ・障害発生時の年齢別：①10～20歳未満 41.4% ②20歳以上 38.9%
③10歳未満 32.3% ④出生時 19.9%

※参考

- ・全国の障害者（20歳以上）のスポーツ実施率 20.8%（平成30年3月 笹川スポーツ財団）
▶無記名式のインターネット調査、全国の7歳以上の障害児・者 8,094人から回答
- ・都民全体（18歳以上）のスポーツ実施率 57.2%（平成31年2月 東京都生活文化局）
▶個別訪問面接聴取法、18歳以上の都民 1,818人から回答

以下の設問は、過去1年間に何らかのスポーツ・運動を行った684人の回答結果を記載。

■実施種目（上位5位まで）

- ①「ウォーキング、散歩」73.8% ②「体操」27.5% ③「室内運動器具を用いる運動」17.4%
- ④「水泳・遊泳」12.0% ⑤「陸上競技」7.2%、「球技」7.2%

■実施場所（上位5位まで）

- ①「道路や遊歩道」43.4% ②「自宅」32.3% ③「広場や公園」26.0%
- ④「民間のスポーツ施設」18.9% ⑤「公共のスポーツ施設（障害者専用施設以外）」14.8%

■一緒に実施する人（上位5位まで）

- ①「一人」51.0%
- ②「家族」26.0%
- ③「福祉施設の職員・仲間」10.1%
- ④「スポーツ教室の指導者・仲間」9.4%
- ⑤「地域の公共スポーツ施設の職員・仲間」6.9%

■スポーツ・運動を実施する理由（上位5位まで）

- ①「健康・体力づくりのため」59.1%
- ②「運動不足解消のため」42.1%
- ③「楽しみや気晴らしのため」33.8%
- ④「リハビリテーションや医療・治療のため」18.1%
- ⑤「精神の修養や訓練のため」11.7%

以下の設問は、過去1年間にスポーツ・運動を行っていない682人の回答結果を記載。

■スポーツ・運動を実施しない理由（上位5位まで）

- ①「活動したいと思わない」73.6%
- ②「活動したいが、身体的にできない」17.6%
- ③「活動したいが、時間がない」3.7%
- ④「活動したいが、一緒にやる人がいない」2.9%
- ⑤「活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない」2.6%

◎全体の半数以上の人々がスポーツや運動に関心がない

■現在のスポーツ・運動への取組（全体の1,366人が回答）

- ①「スポーツや運動に関心はない」54.9%
- ②「スポーツや運動を行いたいと思うができない」16.5%
- ③「スポーツや運動を行っており、満足している」14.6%
- ④「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」14.0%

◎スポーツや運動を行う際に必要と考える支援は様々

■スポーツ・運動を行う際に必要と考える支援（上位5位まで）（全体の1,366人が回答）

- ①「交通機関やまちのバリアフリー化」9.7%
- ②「会場までの送迎」9.2%
- ③「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」8.9%
- ④「適切な指導者」8.8%
- ⑤「障害にあわせたプログラムの充実」7.2%